

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害マニュアルの整備や定期的な訓練の実施、また、地域との協力協定も結んでいるが地域の方々が参加しての災害訓練を行っていない。	地域の方を交えての避難訓練を行うことができる。	①運営推進委員会の際に委員の方も参加して頂き消防署を交えた避難訓練を行う。 ②感想やアドバイスなど頂き、また、消防署の方に質問するなど相互的な訓練を行い次回へと繋ぐことが出来るようにする。	12ヶ月
2	26	グループホームの存在は徐々に理解されてきていると思われるが地域との関わりはまだまだ少ない。	地域の方と交流を図る。	①地域行事への参加、買い物、催し物の見学など外出する機会を増やす。 ②地域ボランティアの受入の実施。 ③運営推進委員の方ををホームへ招き、利用者の方と共に作業を行なう。 ④運営推進委員会を活用しながら地域行事の把握に努める。	12ヶ月
3	2	センター方式の活用や家族訪問時の情報収集、本人との会話の中から思いを汲み取る事を心がけたが不十分な点がある。又、職員が主体の声がけや対応が見られることがある。	本人の思いや考えを汲み取った対応の仕方ができる。	①ご家族や本人から生活歴などお聞きする。 ②センター方式を活用し行動や言葉の裏の本人の考えや思いを引き出す。 ③一緒に作業を行いながらその方のできる能力を把握し本人の思いを汲み取っていく。 ④互いに声を掛け合い職員間での情報共有に努め、統一した対応を行なっていく。	12ヶ月
4					ヶ月

5				ヶ月
---	--	--	--	----

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。